



## 電話機のセットアップ

- [電話機のバッテリーの取り付け \(1 ページ\)](#)
- [バッテリー接触面損傷防止 \(6 ページ\)](#)
- [電話機バッテリーの充電 \(7 ページ\)](#)
- [電話の設定 \(9 ページ\)](#)

### 電話機のバッテリーの取り付け

『ユーザーガイド』の「製品の安全とセキュリティ」章にある情報を読んでから、バッテリーを取り付けたり充電したり、電話機を使用してください。

電話機を使用する前に、バッテリーを取り付け、充電する必要があります。バッテリーは電話機にすでに取り付けられていることもあれば、自分で取り付けなければならないこともあります。

バッテリーの容量と寿命を最大限に延ばすには、電話機の電源を入れてセットアップする前に、バッテリーを完全に充電してください。

#### 関連トピック

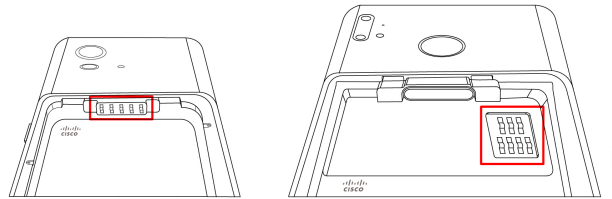
[製品の安全性とセキュリティ](#)

### バッテリーの取り付け

ほこりや湿気の多い環境にバッテリーを設置しないでください。

バッテリーを取り付ける手順は、Cisco Wireless Phone 840 も Cisco Wireless Phone 860 も同じです。ただし、次の図に示すように、これらのモデルではバッテリーの接点が異なる場所にあります。手順のイラストは、Cisco Wireless Phone 860 のものです。

図 1: Cisco Wireless Phone 840および Cisco Wireless Phone 860 のバッテリー接触面



**警告** ハンドセットからバッテリーを取り外すときは、ハンドセット内のバッテリー接触面を損傷しないように注意してください。損傷のおそれがあるため、バッテリーの接触面に触れたり、圧縮したり、接触させたりしないように特に注意してください。



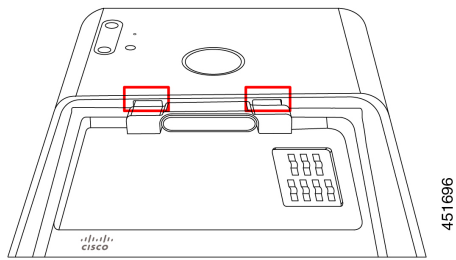
**警告** この電話機には、シスコブランドのバッテリーのみを使用してください。サードパーティのバッテリーを使用しようとすると、エラーが表示され、バッテリーは機能しません。サードパーティのバッテリーを使用したことによる損傷はサポートしていません。

## 手順

**ステップ 1** バッテリーの上端にある 2 つのバッテリータブを見つけてます。

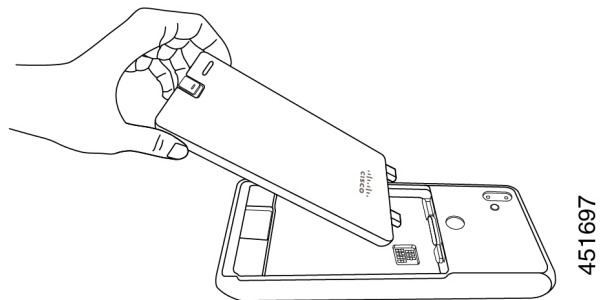


**ステップ 2** 電話機のバッテリー収納部の上部の壁にある 2 つのスロットを見つけてます。

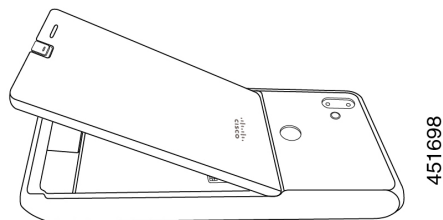


**ステップ3** バッテリーを電話機のバッテリー収納部に対して約45～60度の角度で配置します。

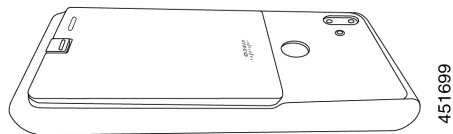
2つのプラスチックタブが付いているバッテリーの端を、バッテリー収納部の2つのスロットに向けます。



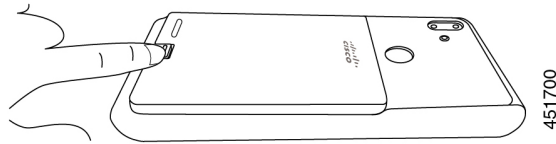
**ステップ4** 2つのプラスチックバッテリータブを2つのバッテリー収納スロットに直接挿入します。



**ステップ5** タブとスロットの接触面をピボットとして使用して、バッテリーを収納部に下ろします。



**ステップ6** バッテリークリップが所定の位置にカチッとハマるまで指で押し下げます。



### 関連トピック

[電話機バッテリーの充電](#) (7 ページ)

## バッテリーの取り外し

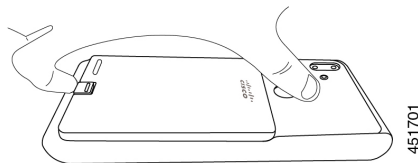
バッテリーの取り外しは、バッテリーの挿入と逆の手順に従います。

バッテリーを取り外す手順は、Cisco Wireless Phone 860 も Cisco Wireless Phone 840 も同じです。ただし、これらのモデルでは、バッテリーの接点が異なる場所にあります。次の手順の図は、Cisco Wireless Phone 860 についてです。

### 手順

**ステップ1** バッテリクリップを外すには、爪を使ってクリップを電話機の上部に向かってゆっくりと押し込みます。

**注意** クリップを引き上げたり、ねじったりしないでください。レターオープナーやドライバなどの工具を使用して、クリップをこじ開けないでください。誤った操作で工具を使用してこじ開けると、バッテリクリップが破損する可能性があります。

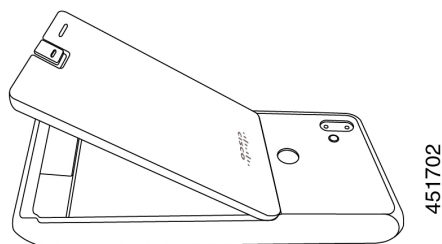


**ステップ2** 指の爪を使って、バッテリーをバッテリー収納部から8分の1インチ（数ミリメートル）ほどゆっくりと持ち上げます。

**ステップ3** バッテリクリップを外し、指でバッテリーをつかみます。

**ステップ4** バッテリタブとバッテリー収納スロットを支点として使用して、バッテリーの端をバッテリー収納部から持ち上げます。

**警告** 接点が損傷する可能性があるため、バッテリーをバッテリー収納部上でスライドさせないでください。



**ステップ 5** バッテリー収納スロットからバッテリータブをゆっくりと引き出し、バッテリー収納部からバッテリーを持ち上げます。

**警告** バッテリーの一部が電話機のバッテリー接触面に接触しないようにしてください。

## Cisco Wireless Phone 860 および 860S のバッテリーをホットスワップします。

Cisco Wireless Phone 860 および 860S には、バッテリー残量が少なくなったときに電話機を使い続けることができるホットスワップ機能があります。ホットスワップ中、電話機の内蔵バッテリーは、電話機の電源を入れたままにするために最小限の電力を供給します。

アクティブな電話機の画面での音声通話中やその他のアクティビティ中など、ほとんどの通常の操作でバッテリーホットスワップを実行できます。ホットスワップ中に電話機を積極的に使用したり、消費電力を増加させるものを使用すると、まれに電話機の電源がオフになることがあります。



**注意** ホットスワップ中に使用する新しいバッテリーが適切に充電されていない場合、バッテリー低下アラートが表示され、電話機がシャットダウンします。

電話機の内蔵バッテリーが起動せず、充電されていない場合、バッテリーのホットスワップに失敗する可能性があります。電話機がスリープモードの場合、または電話機の電源を入れたばかりの場合は、内蔵バッテリーが起動せず、充電されていない可能性があります。



**(注)** Cisco Wireless Phone 840 および 840S にはバッテリーが内蔵されていないため、ホットスワップ機能はサポートされていません。

### 始める前に

- ホットスワップ中に使用する新しいバッテリーが適切に充電されていることを確認します。

- 電話機がスリープモードの場合、または電話機の電源を入れたばかりの場合は、スリープを解除して内蔵バッテリーを充電します。
  1. 次のいずれかを実行します。
    - 電話機の画面がスリープモードの場合は、電話機のロックを解除して 30 秒間待ちます。
    - 電話機の電源を入れたばかりの場合は、電話機のロックを解除して 3～5 分待ちます。
  2. 電源ボタンを短く押して電話機の画面をオフにし、3～5 秒待ちます。

### 手順

ステップ1 バッテリーを取り外します。

ステップ2 60 秒以内に新しいバッテリーを取り付けます。

### 関連トピック

[バッテリーの取り付け](#) (1 ページ)

[バッテリーの取り外し](#) (4 ページ)

[電話機をオンにする](#)

[電話機のロックを解除する](#)

## バッテリー接触面損傷防止

挿入または取り外し中に、バッテリーの一部をバッテリーの接触部にスライドさせたり引きずったりすると、バッテリーの接触部が損傷する可能性があります。

損傷したバッテリーの接触部が電話機の接触部と適切に接触しないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 電話の電源が入らない。
- 電話機がランダムにシャットダウンする。
- 電話機がシャットダウンする前に、**[無効なバッテリーシャットダウン (Invalid Battery Shutdown)]**メッセージが表示される。

これらの障害シナリオでは、電話機からバッテリーを取り外し、バッテリーの接触部の端子とパッドを調べます。

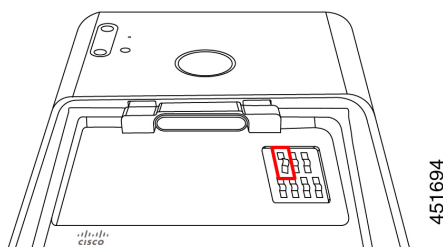


(注) バッテリーの接触部は、Cisco Wireless Phone 840 と Cisco Wireless Phone 860 の異なる場所にあります。

- 接触部が汚れていたり、異物が付着していないか確認してください。電氣的接続を妨げる可能性があります。
- 電話機の接触部の端子が接触部に対してまっすぐで、すべての端子が同じ高さになっていることを確認します。

Cisco Wireless Phone 860 のバッテリー収納部の次の画像では、バッテリーの不適切な挿入による左上の端子の損傷を示しています。

図 2: Cisco Wireless Phone 860 バッテリー接触部の損傷



## 電話機バッテリーの充電



**警告** 爆発の危険性：爆発の危険性のある場所で電話機のバッテリーを充電しないでください。ステートメント 431

次のいずれかのオプションを使用してバッテリーを充電できます。

- USB ケーブル：コンピュータ上の Cisco Unified Communications Manager Attendant Console 電源アダプターを使用すると電話機を充電できます。
- デスクトップ充電器 - 電話機と予備のバッテリーを充電できます。
- マルチ充電器：複数の電話機とバッテリーを同時に充電できます。

電話機やバッテリーの充電時間は、充電方法によって異なります。

- USB ケーブルと AC プラグを使用して電話機を充電するには、約 3 時間かかります。
- USB ケーブルとコンピュータを使用して電話機を充電するには、約 8 時間かかります。
- 通常の状態では、放電したバッテリーはデスクトップまたはマルチ充電器で約 3 時間で完全に充電されます。

- 電話機とバッテリーの両方がデスクトップ充電器にある場合は、電話機が優先されます。そのため、バッテリーの充電に時間がかかります。



(注) 最良の結果を得るには、周囲温度 50 ~ 86 °F (10 ~ 30 °C) で電話機のバッテリーを充電してください。この温度範囲外でバッテリーを充電すると、充電時間が長くなったり、充電サイクルが不完全になったりします。

バッテリーは約 65° F (20° C) の乾燥した状態で保管してください。



**注意** Cisco Wireless Phone 860 または 860S のメインバッテリーまたは内蔵バッテリーを完全に消耗させないでください。電話機またはバッテリーを1か月以上保管する必要がある場合は、電話機に取り付けられているバッテリーを6か月ごとに100%まで完全に充電することをお勧めします。メインバッテリーを取り外した状態で電話機を1か月以上保管しないでください。



(注) 重大な損傷を受けたバッテリーコンタクトピンは修理不可であり、シスコの保証の対象外です。軽微な変形は、適切なツールを使用してバッテリーコンタクトピンを正しい位置に慎重に曲げて戻すことで修正できます。シスコは、この操作中に発生した損害について責任を負いません。

#### 関連トピック

[デスクトップ充電器](#)

[マルチ充電器](#)

## AC 電源でバッテリーを充電する

デスクトップ充電器またはマルチ充電器がない場合は、USB ケーブルと AC 電源アダプターを使用すると電話機のバッテリーを充電できます。



**注意** Cisco Wireless Phone 840 および 860 には、承認された USB ケーブルと電源アダプターのみを使用してください。

#### 手順

**ステップ 1** USB ケーブルをピンを揃えて電話機の下部に差し込みます。

**ステップ 2** USP ケーブルを電源アダプタに差し込みます。

**ステップ 3** 電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。



## 関連トピック

[シスコ付属品部品番号](#)

## USB ケーブルおよびコンピュータの USB ポートでバッテリーを充電する

デスクトップ充電器、マルチ充電器、または USB ケーブルと AC 電源アダプターがない場合は、USB ケーブルとコンピュータを使用して電話を充電できます。ただし、この方法は他の方法よりも電話の充電に時間がかかります。



**注意** Cisco Wireless Phone 840 および 860 には、承認された USB ケーブルのみを使用してください。

## 手順

**ステップ 1** USB ケーブルをピンを揃えて電話機の下部に差し込みます。

**ステップ 2** USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに差し込みます。

## 関連トピック

[シスコ付属品部品番号](#)

## 電話の設定

電話を機能させるには、組織の Wi-Fi ネットワークと呼制御システムに接続する必要があります。


電話機の構成では、以下のいずれかの方法を使用します。

- 管理者が電話機を設定します。手動で構成を行う必要はありません。管理者は、ユーザーが構成メニューにアクセスできなくすることがあります。
- Wi-Fi ネットワーク用に電話機をセットアップし、呼制御システムに接続します。管理者から、電話機を Wi-Fi ネットワークと呼制御システムに追加するために必要な情報が提供されます。



(注) 組織の Wi-Fi ネットワークに、電話機を呼制御システムに転送する DHCP Option 150 が含まれていない場合は、電話機を呼制御システム環境の TFTP サーバーに手動で向けることができます。

電話機が Wi-Fi ネットワークと呼制御システムに接続されたら、次のことを行うことができます。

- 着信音や自動ノイズキャンセルなど、シスコ電話アプリ  のユーザー設定を構成します。
- Bluetooth® デバイスを電話機にペアリングします。


詳細な指示については、「設定」を参照してください。

## Wi-Fi プロファイル構成

初期状態の電話機または工場出荷時の状態にリセットされた電話機の場合は、スタートアップウィザードを使用して Wi-Fi ネットワークを構成するか、[オフラインでセットアップ (Set up offline)] を選択します。電話機をオフラインで構成する方法は、Wi-Fi ネットワークが次のいずれかであるかどうかによって異なります。

- ブロードキャストされている
- 非ブロードキャストまたは非公開

### ブロードキャスト Wi-Fi ネットワークに電話機を追加する

電話機をブロードキャスト Wi-Fi ネットワークに追加するには、スタートアップウィザードを使用するか、オフラインで設定アプリ  を使用します。


#### 始める前に

管理者から Wi-Fi ネットワークに関する次の情報を入手します。

- ネットワーク名またはサービスセット識別子 (SSID)
- ネットワーク セキュリティ モード
  - なし
  - 事前共有キー (PSK)
  - Protected Extensible Authentication Protocol (PEAP)
  - Extensible Authentication Protocol (EAP; 拡張可能認証プロトコル) Transport Layer Security (EAP-TLS)
  - EAP Tunneled Transport Layer Security (EAP-TTLS)
- セキュリティモードの個人識別番号またはパスキー (使用する場合)

管理者に証明書が必要かどうかを確認し、電話機に証明書をインストールするように手配してください。

## 手順

- ステップ1 電話機のディスプレイを下から上にスワイプして、インストールされているアプリケーションを表示します。
- ステップ2 設定アプリ  をタップします。
- ステップ3 [ネットワークとインターネット (Network & internet)] > [Wi-Fi]の順に選択します。
- ステップ4 目的の Wi-Fi ネットワーク名をタップします。

ネットワークにセキュリティモードがない場合、電話機は自動的に Wi-Fi ネットワークに接続します。

ネットワークセキュリティモードが PSK の場合は、8 ~ 63 の ASCII または 64 Hex Passphrase を入力します。
- ステップ5 PEAP、EAP-TLS、またはEAP-TTLSセキュリティモードのネットワークの場合、PEAP、TLS、または TTLS の **EAP 方式** を選択します。
- ステップ6 EAP-TLSセキュリティモードのネットワークの場合、目的の **CA 証明書** と **ユーザー証明書** を選択します。
- ステップ7 EAP-TTLS または PEAP セキュリティモードのネットワークの場合、使用する **フェーズ 2 認証方式** と **CA 証明書オプション** を選択し、**ID** と **パスワード** を入力します。
- ステップ8 [接続 (Connect)] をタップします。

## 非ブロードキャスト Wi-Fi ネットワークに電話機を追加する

以下の手順に従って、非表示またはブロードキャストされていない Wi-Fi ネットワークに電話機を追加します。

### 始める前に


管理者から Wi-Fi ネットワークに関する次の情報を入手します。

- ネットワーク名またはサービスセット識別子 (SSID)
- ネットワークセキュリティモード
  - なし
  - Wi-Fi Protected Access II (WPA2)-Personal : 事前共有キー (PSK)
  - EAP 方式の WPA2-Enterprise
    - Protected Extensible Authentication Protocol (PEAP)
    - Extensible Authentication Protocol (EAP; 拡張可能認証プロトコル) Transport Layer Security (EAP-TLS)
    - EAP Tunneled Transport Layer Security (EAP-TTLS)

- セキュリティモードの個人識別番号またはパスキー（使用する場合）

管理者に証明書が必要かどうかを確認し、電話機に証明書をインストールするように手配してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** 電話機のディスプレイを下から上にスワイプして、インストールされているアプリケーションを表示します。
- ステップ 2** 設定アプリ  をタップします。
- ステップ 3** [ネットワークとインターネット (Network & internet)] > [Wi-Fi]の順に選択します。
- ステップ 4** [ネットワークを追加 (Add Network)] をタップします。
- ステップ 5** 希望の Wi-Fi ネットワーク名を入力します。
- ステップ 6** 希望のセキュリティを選択します。
- オープンネットワークの場合は、[なし (None)] を選択します。
  - PSK 対応 Wi-Fi ネットワークの場合は、[WPA2- Personal] を選択し、8-63 ASCII または 64 HEX のパスワードを入力します。
  - EAP 対応の Wi-Fi ネットワークの場合は、[WPA2-Enterprise] を選択します。
- ステップ 7** WPA2-Enterprise ネットワークの場合は、**EAP 方式** (PEAP、TLS、または TTLS) を選択します。
- ステップ 8** EAP-TLSセキュリティモードのネットワークの場合、目的の**CA 証明書**と**ユーザー証明書**を選択します。
- ステップ 9** EAP-TTLS または PEAP セキュリティモードのネットワークの場合、使用する**フェーズ 2 認証方法**と**CA 証明書オプション**を選択し、**ID**と**パスワード**を入力します。
- ステップ 10** [詳細オプション (Advanced options)] で、[非表示のネットワーク (Hidden network)] を [はい (Yes)] に設定します。
- 必要に応じて、**プロキシ**および**IP 設定**を設定することもできます。
- ステップ 11** [保存 (Save)] をタップします。
- 

## TFTP サーバーの構成

ネットワークが登録先の Cisco Unified Communications Manager の DHCP オプション 150 または 66 を提供していない場合は、TFTP サーバーを構成する必要があります。



- (注) 自動で設定する方式を使用する場合は、オプション 150 または 66 を使用して DHCP プールを構成します。

#### 始める前に



次の情報が必要です。

- デフォルトのパスワードが更新された場合のローカル電話機ロック解除パスワード
- TFTP サーバーの IP アドレス

#### 手順

**ステップ 1** シスコ電話アプリ  にアクセスします。

**ステップ 2** 電話機のソフトウェアバージョンに基づいて、次のいずれかを選択します。


- リリース 1.2(0) の場合は、[オーバーフロー (Overflow)] メニュー  をタップします。
- リリース 1.3(0) 以降の場合は、[ドロワー (Drawer)] メニュー  をタップします。

**ステップ 3** 電話機のソフトウェアバージョンに基づいて、次のいずれかを選択します。

- リリース 1.2(0) の場合は、[設定 (Settings)] > [電話機の情報 (Phone information)] > [セキュリティ (Security)] の順に選択します。
- リリース 1.2(0) の場合は、[ユーザー設定 (User Settings)] > [電話機の情報 (Phone information)] > [セキュリティ (Security)] の順に選択します。

**ステップ 4** ローカル電話機ロック解除パスワードを入力します。

デフォルトのパスワードは、\*#\* です。

**ステップ 5** 代替 TFTP サーバーを有効にするには、[代替 TFTP (Alternate TFTP)] スライダを右  にスワイプします。

**ステップ 6** TFTP サーバーアドレスを入力し、[OK] をタップします。

**ステップ 7** 左上隅の戻る矢印を 2 回タップして変更を保存し、メニューを終了します。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。